

## 株式会社 キャップドウ

設立：2016年3月

所在地：熊本市東区

事業内容：業務改善コンサルティングなど

従業員数：11名

令和2年12月現在

テレワークが働き方の選択肢の一つとなり、社員が働きやすい場所を選択できる



### テレワーク導入目的

夫婦2人で起業した会社であるが、起業後すぐに代表者夫婦に子どもが生まれた。妻が出勤できないため、どうしたらいいのかというところから始まり、起業と同時期にテレワークを始めたのがきっかけである。まずはバックオフィス業務からスタートさせた。

コロナが始まった令和2年2月26日から緊急事態宣言中に全社員がテレワーク勤務に移行した。現在は社員が働きやすい場所を選択し、勤務している。

### テレワーク形態

<対象者> 原則、入社後3カ月経過し業務に慣れた者が、社員の事情に応じ柔軟に対応。

<作業場所> 自宅、サテライトオフィス。

<形態> テレワークかオフィス勤務かは社員の選択制。テレワークをする場合、原則事前申請。社員の急な事情に応じ柔軟に対応。午前在宅・午後出社など一部テレワークも可能。

### 導入にあたっての課題や不安をどう克服したか。

オフィスでなければできない業務をどうするかが問題であった。

課題や不安	克服方法
○ 電話対応	電話代行会社を取り入れることで解決した。
○ 来客対応・取引先対応	オフィスを常時開けることをやめた。来客の約束がない日は、社員はオフィスに出勤する必要はないとした。また、取引先の理解のもとに、訪問はせずオンラインで対応した。
○ 郵便物対応	ポストを定期的を確認しに行くことで対応。重要書類の場合、事前に相手先と調整して対応。
○ 印鑑（押印関係）	基本的には電子契約等に切り替えた。金融機関など、どうしても押印が必要な場合は、対面で対応。

## 実際にテレワークを行ってからの問題及びそれをどう克服したか

課題や、手続き	 克服方法
○ コミュニケーションが不足するのではないか	コミュニケーションを活発にするため、オンラインツールを使用して、コミュニケーションの量を増やした。また下記のワンオンワンミーティングの際に、プライベートの悩みも聞くようにしている。雑談の時間が減ることで社員がストレスを抱えやすくなるため、会話を大事にしている。
○ 使用機器	パソコン、モバイルWi-Fiは会社支給のものを使用。ペーパーレス化を進めているため、紙を使用することはほぼない。
○ 仕事の進捗状況の把握方法	システム上でそれぞれの仕事の進捗状況を確認しており、毎週、月・水・金で全体ミーティングも行っている。全体で情報が共有できているため、仕事が遅れている人がいれば協力し合う。
○ 業務評価	システム上での業務把握に加え、毎日5分程度オンライン上で管理職とのワンオンワンミーティングを行い、個別に社員の業務内容を把握。
○ 各種手当の取り扱い	通勤手当は通常通り支給。テレワーク手当は特に支給していないが、今後は検討課題である。
○ 時間外労働の把握	残業は事前申請制。GPS機能と連動している勤怠管理システムにて管理をしている。

## 実施後のメリットなど

- 社員が作業時間を確保して仕事ができるため、仕事に集中出来る時間が増えた。
  - 電話対応に時間を割かなくてよくなった。
  - オンライン対応をすることで、全国対応が可能となり、会社の売上も上がった。
- ※代表者自ら、実験的に3か月間のワーケーションに取り組んだ。

